

## 小林 良美監督プロフィール —東京国際大学 女子ソフトボール部—

### <経歴>

女子ソフトボール部監督 小林 良美（こばやし よしみ）

1968年8月11日生まれ。神奈川県出身。

平塚商業高校。卒業後は日立高崎ソフトボール部の選手として活躍した。

2000年シドニー五輪にて宇津木妙子監督率いる日本代表選手として銀メダル。

2004年アテネ五輪コーチとして日本を銅メダルへと導く。

### <主な実績>

全日本総合女子ソフトボール選手権大会 優勝

（1989、1992、1994、1996、1997、2001、2003、2004年）

日本女子ソフトボールリーグ決勝トーナメント 優勝

（1990、1995、1997、2002、2003年）

国民体育大会（ソフトボール）競技 優勝（2002年）

### <指導歴>

2003年 アテネ五輪日本代表選手団 コーチ兼選手

日立&ルネサス高崎 コーチ兼選手

2005年 日立&ルネサス高崎 コーチ

2007年 日立マクセルソフトボール部 監督

2014年 大垣ミナモソフトボールクラブ コーチ

2016年 大垣ミナモソフトボールクラブ 監督

2017年 S Gホールディングスソフトボール部 監督

2022年 1月より東京国際大学女子ソフトボール部監督に就任

### <監督からのメッセージ>

この度ご縁をいただき、素晴らしい環境の中で、監督として活躍する場をご用意して頂いたことに感謝いたします。実業団選手として、多くのことを当時の宇津木妙子監督から学びました。心身ともに強くなり、選手としてソフトボールの楽しさを厳しいながらも知ることができました。

指導者としてはまだまだ未熟ですが、スタッフ陣や関係者のみなさまと協力し合い、全力でソフトボールの奥深さを追求し、大学女子日本一のみならず、世界を目指せる選手の育成も目標にしたいと考えております。

大学生活は、社会に出るための最後の準備期間であり、とても大切な時期だと思います。このような時期に、人と人との関わりあい方・接し方、あるいは、マナーや礼儀といった社会人としての基本的な事を、ソフトボールをとおして経験し、そして学んでもらい、総監督の言葉にもあるように、ただ強いだけでなく、皆に愛され、応援して頂けるチームを作り、『日本一』になるチームを目指します。